

主なご意見等と区の考え方、対応（令和6年度 第1回生野区区政会議 まちの未来部会）

意見交換のテーマ（区として特にご意見やアドバイスをいただきたいこと）

来年控えている大阪・関西万博の開催に向けて、生野区でも様々な取組みを行っているが、大阪・関西万博の開催を、生野区のみちづくりにどうつなげるか。

ご意見・アドバイス等	委員名
<p>生野区としていろいろと取組みはおこなっていると思うが、万博の流れや盛り上がり弱いように感じる。府や国のやり方の問題もあるのかもしれないが、スタートが鈍かったのかなと思うので、これから何とか生野区として盛り上げていけたらと思う。</p>	須郷委員
<p>万博で人がたくさん来るのかなというポジティブな意見と、いろいろな人がくるからこそ地域に住まわれている方はどう思うのかというネガティブな意見と両方が混在している。ただ、生野区のことを知っていただくチャンスではあると思うので、このタイミングで何かできたらいいと思う。若い方がずっと住み続けたいと思えるような橋渡しができればいいのかなと感じている。万博の盛り上がり、生野区に住む人を増やすことにどうつながるのか、イメージは持てないが、ものづくりと食文化が強いまちであると思うので、そういったことに興味があるという方が増えてくれたら嬉しい。</p>	倉本委員
<p>空き家が多くて、民泊にどんどん広がっているけれど、そのあたりで万博に来た方々を呼び込めるのかなど。日本の文化と外国の文化が違うので、ごみの出し方などマナーの問題はあります。一時期に比べれば、割とマナーも浸透してきて、今はトラブルもあまり聞かれなくなったので、それが生野区内に広がって、地域の活性化につながればいいと思う。</p>	島本委員
<p>「EXPOいくのヒートアッププロジェクト」プロモーション事業で「EXPOいくの実行委員会」をしている。イベントを通じて、生野区の熱量がどんどん盛り上がっているような実感を持っている。万博が終わっても生野区の活性化につながることが大事である。</p>	塚本委員
<p>万博との兼ね合いとして捉えたとき、生野区にはどれだけ宿泊施設があるか、現状を見て戦略を立てていくのをやってもいいのかと思う。生野区を知ってもらう冊子などを既存の宿泊施設に置いてもらうことも1つの方法である。2025年に向けてどう種をまくか、どこを中心にブランディングしていくかということが重要だと思う。</p>	廣川委員

主なご意見等と区の考え方、対応（令和6年度 第1回生野区区政会議 まちの未来部会）

ご意見・アドバイス等		委員名
万博を契機とした まちづくり	<p>万博以降も生野を好きになってもらえて、住みよいまちだなどと思ってもらうことが大前提であると思う。あちこちで聞中、生野はあまり良いイメージを持たれていない。昔のイメージというか、治安が悪いとか、ちょっと怖いとかそういうイメージをいまだに持たれている。</p>	中村(寛)委員
	<p>昔のイメージが引きずっていて、なかなか意識が変わっていきたくないということがあるので、これを機会に情報発信から変えていくということも大切かなと思う。また、空き家について、それらをどんどん民泊にしたら、来年宿泊客が取れるのかということを実践的に考えたほうがいい。生野区の鶴橋辺りのコリアタウンにはどんどん新しいお店ができ、多くの人 coming ている。現にすごい行列ができているお店もある。これ以上の活性化として何をイメージしているのか、冷静に考えることも必要だと思う。鶴橋駅からコリアタウンに向けて、公衆トイレがないという問題があったと思う。多くの人 coming するために何ができるのか、受け入れられるのかということも考えていかなければならないと思う。</p> <p>そのほか、これからもっと生野に外国人が増えたとき、ゴミ捨て、習慣の違いなどの揉め事で分断が起こらないように、何ができるのかということも考えていかなければならない。住む人が増えるという話でいうと、若い人がどうやったら生野に住んでくれるのか、外国人押しで本当にいけるのか。ブランド価値を高めるために、いい住宅や環境を用意しなければならないのではないかということも、長期的に見れば課題としてあるかもしれない。</p>	山納委員
	<p>民泊が多い地域に住んでいるが、騒音やごみ出しの問題があるので地域は大変である。ごみ出しのルールは、多国籍でも表示しているが、キリがない。そもそも民泊の管理者がわからないので、地域から声をいただいてもどこに言っていいかわからないので、町会も困っている。管理者を明確にするということも1つの改善策としてあっていいのかなと思う。</p> <p>また、外国人の方が生野区に住む際、不動産賃貸契約とか公共手続きのサポートとかをするような窓口が、鶴橋や桃谷のステーション近くにあればいいのになと思う。</p>	倉本委員
	<p>生野区の未来についてできることを考えたとき、子どもに関心を持ちながら見守りをしていくこと、お年寄りについても、声かけやつながりを続けていくこと、これらが地道であるが大切だと思う。</p>	島本委員
	<p>生野区の魅力は多文化でたくさんの外国人の方がいること、そしてそれを受け入れる土壌があることで、それをどんどん魅力として発信していったら、外国の方とどんどん仲良くなってコミュニケーションを取ることが、生野区の活性化にもつながるし、防災や未来につながると思う。</p>	塚本委員

主なご意見等と区の考え方、対応（令和6年度 第1回生野区区政会議 まちの未来部会）

ご意見・アドバイス等		委員名
万博を契機としたまちづくり	民泊について、戦略として考えるのであれば、各国特化型の民泊があっても面白いと思う。特化していれば、その国の人たちにアプローチしやすい。	廣川委員
	今里筋を北から降りてきたら、猪飼野橋を超えたあたりから、建物が低くなり、生野区らしい光景になる。夜になると明かりも少なく、暗い。窓からの明かりを外に漏らすとか、街灯をつけておこうとか、まちぐるみで何か取り組めたら明るいまちづくりにつながるかなと思う。	中村(寛)委員
	生野で、子どもとか高齢者の集まりとかイベントとかは結構あるが、若い人、例えば20代～40代までの人の男性の集まる場所は一切ない。子育て世代、若い人が重要だと言いながら、一切取り組まれていないというのがちょっとバランスが悪いと思う。もうちょっとそういう人たちのための何かを考えていったらいいんじゃないかなと思う。	塚本委員